

兵高教組

2020年5月21日

調査情報 4号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745 FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

学校再開に向け、県教委に要求書提出 (県教委回答)「感染防止が最優先」

「必要なものは学校で準備・購入を」

高校・特別支援学校では、近づく学校再開への対応について様々な問題が起こっています。

5月18日、兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）は教育委員会に、「特別支援学校の再開に関わる緊急要求書」を提出しました。障害児学校は通常校より感染リスクの心配が高いと言われていいます。提出にあたっては、兵庫県教育委員会特別支援教育課副課長と主幹に対して、各職場からあがった切実で具体的なたくさんの声を直接届けることができました。やりとりの中で県教委は、高等学校も含めて登校日設定やその後の再開において「感染予防とそのため之三密回避」を最優先に考えており、そのため予算をつけているので、衛生用品など「要るものは買ってもらったらよい。また補正予算も組む予定だ」との意向を述べました。組合としては、現場の不安に応えるために三密回避の基準や消毒の頻度・手順など具体的に示してほしいと要求しましたが、「学校規模が様々で、細かく規定するとかえって考えにくくなるのでは」という回答でした。

その他、県教委の回答より - 要求書と回答の詳細は高教組HPの「おはよ」参照 -

消毒液など各学校に調査中。
早急に準備したい。必要なものを学校で良く精査して学校長に相談してほしい。

複数が同室の寄宿舎では夜間の感染予防が難しく、開舎の時期や利用する人数を各校で慎重に考えてほしい。通学の場合、経費負担増がないよう財務と相談する。

(わからないことがあれば) これまでもそうだが、学校から質問が寄せられれば、それに対して回答を出す。

これからはコロナと生きていく時代になる。どう対応すべきか、学校で工夫して考えてほしい。

学校まかせの姿勢は気になりますが、それにしても今求められているのは、我々教職員が知恵を合わせて安心安全な学校づくりを考えていくことでしょう。この休校期間、学校運営や教育内容に関わる大事なことが教職員の合意なく、管理職の一存で進められた職場もあったようです。休暇取得や在宅勤務で多くが揃わず致し方なかった部分もありますが、学校再開の準備にあたってあらためて民主的な学校運営を強く求めます。

・・・*・・・*・・・*・・・*・・・*・・・*・・・

妊娠教員、また家庭や身体事情で出勤に不安のある方について、学校再開後も勤務を軽減できるように、高教組は引き続き求めていきます。新型コロナウイルスに係る賃金諸手当・労働条件について、教職員の要求をくみ上げて要求実現に向けて奮闘します。ご相談ください。

教職員の生活と権利を守る高教組へ、あなたもぜひ！